

国府 まるひめ探検隊が行く!

Vol.

2

令和7年3月31日発行



国府まる君

びんごこくふあと

備後国府跡のことを もっとみなさんに知ってもらうために、

まるひめ探検隊の国府まる君と国府ひめちゃんが 府中のまちを探検します。

備後国府にまつわるうわさを聞いたまるひめ探検隊が 見つけたことを紹介します。



国府ひめちゃん

どっちがパズルでしょ〜!?

実物大

左



右



府中市元町 国史跡備後国府跡ツジ地区出土 奈良三彩小壺

正解は右!!

どうして壺^{つぼ}のパズルを作ったの?

2005年の備後国府跡の発掘調査で見つかったんだけど、
とても貴重で壊れやすいから、普段は大切に保管してあるんだって。
でもみんなに知ってほしいから、復元パズルを作ったの。

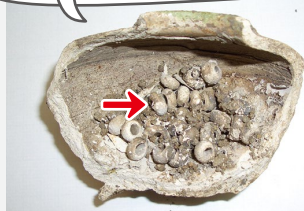
左の写真が本物なんだね!

あっ!!
なにか入っているね。



出土した時の様子 (ツジ地区 0501T)

ならんでいるね。
ひもでつながっていたのかな?



割れた壺の内側とガラス小玉

緑色が残ってる!



風化したガラス小玉

残念ながら調査中に割れてしまったけど、1300年前に埋められた
状態のまま出土したのよ。中には54個のガラスの小玉が入っていたんだって。

この壺はいったい何だろう? 可愛い先生にきいてみたよ!

裏面へ



教えて! 神野先生!



まろ君、ひめちゃん、
とてもおもしろいものに目をつけましたね。

これは ^{な ら さ ん さい}奈良三彩 と呼ばれている焼きものの ^{こ つ ぽ}小壺 です。

奈良三彩というのは、奈良時代に ^{うわぐすり}緑、黄、白色の3色の釉薬 をぬりわけて、カラフルに彩られた器のこと。中国にあった唐の国で、はやっていた唐三彩をまねして、日本でつくられました。古代では釉薬がかかった色鮮やかな器をつくるのは、とても高い技術が必要でした。奈良三彩は普通の食器ではなくて、神さまや仏さまへのお供えに使われたと考えられています。

奈良三彩に
くわしい!



奈良文化財研究所
神野 恵先生

日本全国の発掘調査でみつかるとなる奈良三彩で一番多いのは小壺です。これまで、おそらく50点くらいはみつかっていると思いますが、この小壺のように、^{ふた}蓋や中身まで残っているのは、とても貴重なんですよ。

府中市の大切な宝物 だから、大切に受け継いでいってくださいね。

奈良三彩小壺
所蔵 奈良市教育委員会

元々は
こんな色だったのかな?



え!? そんなに貴重なものが埋められていたの!? それに中身も入ってたなんて!

貴重なものが埋められていたのは、その場所にとても重要な建物を建てたからかな? 「エ事が無事に終わりますように、何事もなく安心して過ごせますように」って神様へお供えしたのかも。

都から来た^{こく し}国司(役人)が使っていた建物だったのかもね。

今でも建物を建てる時に「^{じ ち ん さい}地鎮祭」つていうのをやっているよね。

今も昔も、くらしの平安を願う気持ちは変わらないんだね。

完成



パズルを作るために、本物の奈良三彩から型を取りました。

型を取る時には、釉薬がはがれたり、型取りの樹脂が浸みこんだりしないように、細心の注意を払って作業が行われました。

また、奈良三彩はとても薄いので、パズル用の磁石が埋まるように本物より少し分厚くなっています。

遊びに来てね!!

奈良三彩のパズルは
府中市歴史民俗資料館や、
イベントなどで体験できるよ。

